

# 株主通信

2022年12月期

2022.1.1 ▶ 2022.3.31

**GMO**フィナンシャルHD

証券コード：7177

### 利益成長に向けて 顧客基盤を着実に拡大

代表執行役社長  
COO

石村 富隆



当第1四半期の連結業績は、前年同期において非常に好調であった暗号資産事業が低調となり、営業収益、各利益段階は前年同期を下回る結果となりました。

主力商品である店頭FXは、ドル円相場の急速な円安進行やボラティリティの高まりを受けて取引高が増加し、GMOクリック証券は取引高世界1位\*を維持しました。一方でカバー取引コストが増加し、収益性の観点からは厳しい状況となりましたが、昨年9月の外貨ex byGMOの連結子会社化が寄与し、収益は増加しました。また、新たな収益の柱へと成長したCFDが引き続き好調であったほか、タイ王国での証券事業も順調に拡大し、証券・FX事業は増収増益となりました。

暗号資産事業においては、暗号資産市場におけるボラティリティの低下によって売買代金が大幅に減少したことを受けて減収となり、営業損失を計上しました。今後の施策として、法人口座獲得や取扱銘柄の拡充、利便性向上の取り組みを一層強化し、顧客基盤の拡大を図り、次なる収益機会を捉えて利益成長につなげていきます。また、新たなサービスの提供を通じて、暗号資産のユースケースを拡大し、お客様の選択肢を増やすことで、国内の暗号資産業界の発展にも貢献していきます。

2022年度は、引き続き「強いものをより強くする」の方針のもと、グループ各社間のシナジーを発揮し、既存事業のさらなる拡大を図るとともに、NFTマーケットプレイス「Adam byGMO」やバーチャルオフィス事業など、新たな領域での取り組みを推進し、持続的な成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

\* Finance Magnates調べ(2022年1-3月)

# 決算ダイジェスト

(2022年1月1日～2022年3月31日)

## ▼第1四半期決算のポイント

### 証券・FX事業は増収も、暗号資産事業が低調で減収減益

#### 当第1四半期

##### 営業収益

11,823 百万円  
(前年同期比△10.5%)

##### 営業利益

3,393 百万円  
(前年同期比△44.0%)

##### 経常利益

3,668 百万円  
(前年同期比△42.0%)

##### 親会社株主に帰属する四半期純利益

2,429 百万円  
(前年同期比△34.7%)

## 業績レビュー

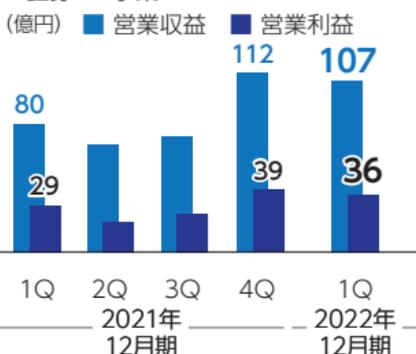
(2022年1月1日～2022年3月31日)

**証券・FX事業:** コモディティ市場の活況を受けたCFDが好調で、売買代金・収益が大幅に伸長したほか、2021年9月の外貨ex byGMOの連結子会社化が寄与し、FX収益も増収となりました。その結果、当セグメントの営業収益は107.4億円(前年同期比33.2%増)、外貨ex byGMOの連結子会社化に伴う費用増を吸収して、営業利益は36.7億円(同24.7%増)となりました。

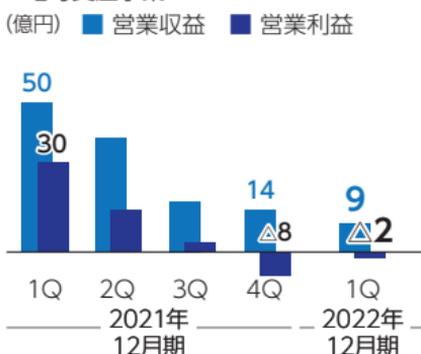
**暗号資産事業:** 暗号資産市場の活況を受けて好調であった前年同期と比較し、2022年1-3月は暗号資産価格のボラティリティ低下を受けて売買代金が大幅に減少しました。その結果、当セグメントの営業収益は9.3億円(前年同期比81.3%減)、営業損失は2.1億円(前年同期は営業利益30.7億円)と減収減益となりました。

### ■ 四半期業績の推移(セグメント別)

#### <証券・FX事業>



#### <暗号資産事業>



### Adam byGMOがスマホアプリをリリース

NFT事業では、ユーザー数の増加に向けて、利便性向上やコンテンツ・機能拡充の取り組みを推進しています。2022年3月31日には、Adam byGMOのスマホアプリ(iOS版・Android版)の提供を開始しました。アプリでは、保有するNFTの鑑賞はもちろん、NFTの検索やお気に入り登録、NFT作品の購入履歴の確認などに対応しています。



また、出品者がユーザーにNFTを無料配布できる「エアドロップ」機能も追加。出品者が特定のNFT保有者を対象に新たなNFTをプレゼントするなど、ファンとの関係性を深めるためのコミュニケーションの手段として利用できるほか、企業などが販促品(ノベルティ)としてオリジナルNFTを作成し、特定多数・不特定多数のユーザーに無料配布するコンテンツマーケティングや販促活動での活用も可能です。

Adam byGMOは、今後も様々な提案を通じて、NFTをもっと身近な存在にしていくとともに、NFTを活用したコンテンツ流通の活性化を推し進めていきます。

### お客様満足度No.1を目指して

取扱銘柄の拡充やツール改善など利便性向上の取り組みを推進するGMOコインでは、2022年2月に取扱銘柄数が国内No.1\*となり、3月末には累計口座数が50万口座を突破しました。4月には、2021年に続いて「2022年 オリコン顧客満足度®調査 暗号資産取引所 現物取引」総合第1位を獲得しました。

GMOコインは、今後も、お客様に一層満足していただけるサービスの創出に邁進し、さらなる成長を目指します。

※ JVCEA「取扱暗号資産及び暗号資産概要説明書」をもとに算出

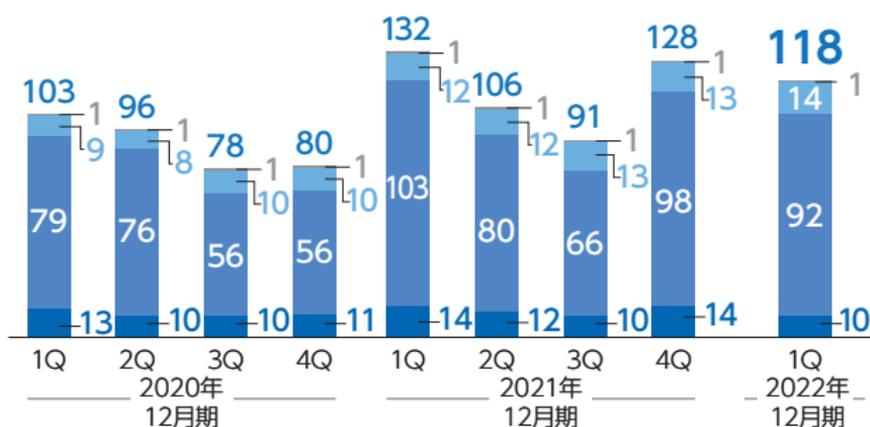


**GMO**コイン

## 四半期業績の推移

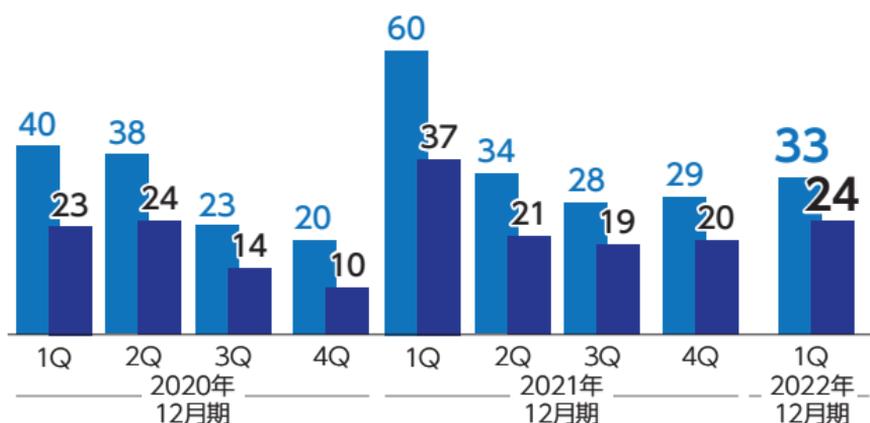
### 営業収益

(億円) ■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



### 営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円) ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



## 株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としています。

2022年12月期第1四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり12.50円といたしました。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	期末	年間
2021年12月期	19.70	11.52	10.10	10.85	52.17
2022年12月期	<b>12.50</b>	—	—	—	—

## ホームページのご案内



<https://www.gmofh.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

## 会社情報

(2022年3月31日現在)

### 会社概要

商号	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 (GMO Financial Holdings, Inc.)
本店所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス
代表者	代表執行役社長 COO 石村 富隆
事業内容	金融商品取引業等を行う連結子会社の経営管理 ならびにこれに附帯する業務
設立	2012年1月4日
資本金	705百万円
従業員数	518名(連結)

### 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場		
証券コード	7177	上場日	2015年4月1日
事業年度	1月1日～12月31日	定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日	1単元の株式数	100株
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話お問合せ先	TEL:0120-782-031(フリーダイヤル)		
ホームページ	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>		
公告の方法	電子公告 公告URL: <a href="https://www.gmofh.com/">https://www.gmofh.com/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		